

平成25年度事業報告書

社会福祉法人 白山会

目 次

1. 運営基本方針および事業目標
2. 具体的な事業とその内容
3. 理事会・評議員会開催状況
4. 集計資料
5. 事故報告集計
- 6 年間事業一覧表
- 7 施設外研修
- 8 施設内研修
- 9 施設内会議一覧表
- 10 消防訓練
- 11 ボランティア
- 12 その他

【事業内容】

特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設)の設置営業 定員 50名

1. 運営の基本方針および事業目標

施設を取り巻く環境がより一層厳しいものとなり、今後施設運営善にわたって効率的で効果的な運営を目指す事が要求されていく中で、真にサービスを必要とする人々に対してその方がその人らしく安心して生活をしていただけるよう、職員一人一人が利用者のニーズを丁寧に確認し、その方の生活全体を支えると言う視点から人間性や尊厳性、その思いを組み込んだケアプランを作成するとともに、これからを実現できる体制として 各専門職の連携を強化したサービス提供体制を構築していくために、以下のような事業を行った。

2. 具体的な事業とその内容

① 利用者に満足して頂ける施設介護サービス計画の策定

利用者のニーズの把握や課題を明らかにし、個別のサービス計画を作成、実施、確認、変更するため随時介護・看護・介護支援専門員などの専門職による施設サービス担当者会議を開催し、介護サービスを提供できるようにした。

② 利用者満足度向上に向けて

一人一人の入居者について、個性、心身の状況、入居に至るまでの生活歴とその中で培われた生活様式や生活習慣を具体的に把握した上で、その日常生活の活動を適切に援助するために24時間シートの活用をしています。

更に事故報告書やひやりはっと報告書、サービスを提供する上で課題が発生した時は、施設運営会議・各種会議の場で速やかに具体的な改善や手順の検討をし継続的な改善を実行した

③ 直接援助サービスの実施

☆食事については利用者個々の要介護状態が重度化に伴い嚥下機能も低下してきていることから、その利用者に合わせた食事を提供する事を目的として栄養部門・介護・看護の部門とも連携をとり、日々の食事状況の観察から食事形態、必要な栄養補助食品、また自分で食べやすい食器、位置、食べる座位等も常に検討した。また、業者による内部研修を開催しトロミの正しいつけ方、や誤嚥のしくみ等業務に生かせるよう学んだ。

給食会議を毎月行い、情報の共有をした。

行事食等の提供により、季節を味覚で感じて頂いた。

☆入浴に関しては、常に利用者の身体状況に合った入浴サービスを考え

特浴⇒個浴 個浴⇒特浴等を試みた。

ゆったりとした家庭生活に近付けた入浴サービスを提供する事に心掛けた。

☆排泄介助では、利用者様個々の目標を立てた。

オムツのメーカーを変える等、コスト削減にも努力した。

☆全部門の職員が日常生活の中で利用者との会話や体の動き、表情、食事の食べ方や量等から異変に気づき、看護師や医師と連携を取りながら情報を共有し病院受診や疾病の早期発見に取り組んだ。

理事会・評議員会開催状況

① 理事会

	日 時	場 所	内 容
第1回	H25.5.27(月)	京成ホテル ミラマーレ8F「桜の間」	・H24年度決算報告書及び事業報告の件 ・新規プロジェクトと資金計画の件
第2回	H25.9.4(火)	京成ホテル ミラマーレ8F「桜の間」	・監査指摘事項の件 ・評議員選任の件
第3回	H25.10.10(木)	要寿司	・理事長選任と理事長職務代行選任の件
第4回	H25.12.10(火)	丸万寿司	・運転資金借入の件 ・車両購入の件
第5回	H26.3.25(火)	京成ホテル ミラマーレ8F「桃の間」	・役員選任の件 ・H26年度事業計画

② 評議員会

	日 時	場 所	内 容
第1回	H25.5.27(月)	京成ホテル ミラマーレ8F「桜の間」	・H24年度決算報告書及び事業報告の件 ・新規プロジェクトと資金計画の件
第2回	H25.9.4(火)	京成ホテル ミラマーレ8F「桜の間」	・監査指摘事項の件 ・評議員選任の件
第3回	H25.10.10(木)	要寿司	・理事長選任と理事長職務代行選任の件
第4回	H25.12.10(火)	丸万寿司	・運転資金借入の件 ・車両購入の件
第5回	H26.3.25(火)	京成ホテル ミラマーレ8F「桜の間」	・役員選任の件 ・H26年度事業計画

平成25年度委員会活動報告

【口腔ケア委員会】

日時	議題	会議内容
H25.9.23	①施設内研修 ②口腔備品 ③その他	①研修内容を検討し、以下の通りに決定した。 ・H25.11月下旬～12月上旬 第1回口腔研修を開催。 ・H26.2月上旬 第2回口腔研修を開催予定。 ・第1回口腔研修内容 「なぜ口腔ケアは必要なのか」と「義歯の取り扱い注意点」 ディスカッション形式にて 担当:高鍋 ②口腔備品について ・各ユニット在庫数が少なくなって来た時点で高橋に報告。 口腔委員会側の在庫を確認、発注する。 ③その他 ・暑さが落ち着き乾燥の季節となります。感染症予防の為、口腔内の乾燥等に注意を払ってもらう様各職員に伝えましょう。

【排泄委員会】

日時	議題	会議内容
H25.6.3	①エルモアより説明 ②エルモア製品試験使用について ③今年度排泄委員について ④今年度目標について ⑤入居者様全員の排泄票を作成 ⑥施設内研修について、その他	①オムツ業者「エルモア」が来荘し、排泄委員に自社製品オムツ、パットの説明をして頂いた。 ②事務長、主任と相談し、5.6丁目で一週間のお試しで使用し、見積もりと合わせて白山荘で使用する可能性があるか判断する。 ③本年度の排泄委員の紹介 ④今年度の目標は「個別に課題を取り上げ達成するよう度力する」 ・入居者毎に課題もしくは目標を設定し、半年後評価を行う。 ・目標は居室担当とリーダーで話し合っ決めて ・2週間以内に連絡を受け、票にまとめる。 ⑤1F～3Fの全入居者様全員の排泄表を作成し、排泄の問題点や工夫等の情報を共有する。 ⑥施設内研修の時期は年2回、10月と2月に行う。 ⑦その他 次回委員会は8/4に行う。
H25.8.17	①外部研修報告 ②施設内研修について ③オムツ、パットの在庫確認について	①現在2種類の外部研修を受けている「認知症の方の排泄ケア研修」 「明日から活かせる介護技術」今後施設内研修等で伝えていく。 ②エルモア制オムツについて、当て方の講習を次のシフトまでにオムツ業者と内容、日程について調整する。 ③現在毎月20日決めでオムツ、パットの在庫確認をしていたが、8月から月末で数えることとなった。 エルモアのオムツパットは各階の排泄委員に白紙の在庫確認表を渡しているため、使用している物品を記入し、8月分から在庫確認をしていく。
H25.12.4	①施設内研修について ②一階階段裏のオムツパット在庫について ③その他	①本年度、第二回施設内研修を年明け以降に行う。内容は「陰部洗浄について」委員長が陰部洗浄の方法についてまとめ、後日排泄委員と相談して研修資料を作成する。 ②現在一階避難階段裏に使っていないオムツパットが置きっぱなしになっている。 災害用に予備のオムツパットは3丁目、2丁目に用意してある為階段裏の物品は各階に分けてもらうようにする。近日中にリストアップし、使える物を各階の排泄委員に持って行く。 ③次回の排泄委員会は2/4
H26.2.3	①今年度の目標の評価について ②来年度の目標について ③排泄、施設内研修について ④排泄会場に使用するホロきれ 陰部洗浄用シート、新聞紙の提案 ⑤各フロアより報告	①今年度の目標は、入居者様個別に目標を設定し達成する事だった→ 達成できたかフロア毎に確認し結果を表にまとめる。 ②来年度も個別に目標を設定し、ケアを行っていく。 「楽を考えず丁寧な介助を行う」 ③施設内研修を次のシフトで行う。テーマ「陰部洗浄」 白山荘としての方法を決めそれを基に行う。 ④ホロ切れは、各フロアで持ってきてもらえるか聞いてもらう。 ⑤1F 特に変更無 2F オムツのサイズ見直し、パット変更を行っている。 3F オムツアイテムの見直しを行っている。

【入浴委員会】

日時	議題	会議内容
H25.5.11	特浴入浴改善について	<p>・現在、入浴介助はスタッフ2名で洗体、見守り、着脱、誘導を行っている。 又現在の入浴介助方法では午前5名、午後4名で1日使い9名の利用者様の入浴介助しかできない。 《問題点》 ・洗体、着脱を2人で行っているため洗体をやっている時間は脱衣場が空いている。着脱を行っている時間には洗体台が空いている。誘導時には特浴室全体が空いている。 空いている時間を有効活用することによって9名以上の利用者様を入浴させることが可能ではないか？ ・業務変更の検討 職員1名:洗体+浴槽 職員1名:洗体+着脱 職員1名:着脱+誘導 計3名が特浴介助することにより浴室、脱衣場、誘導の効率性がある。</p>
H25.8.7	①入浴チェック実施について ②入浴後、目やに鼠頸部の汚れ ③特浴室にラジカセを設置 ④その他入浴(特浴)職員3人体制について ⑤洗体タオルの買い替えについて	<p>・洗体マット新しくなりました。 ・入浴後、目やにや鼠頸部の汚れが目立ってきたので入浴チェック表を実施します。 ・特浴室にラジカセを設置し、利用者様に音楽を聴きながら快適に過ごしてもらう事になりました。 ・8/10より午前10人の利用者様を職員3人でできるかという行い、その後継続するかを検討。 ・洗体タオルを3ヶ月に1回買い替えることになりました。</p>
H26.2.6	①前回委員会より ②特浴に関して ③その他 ④来年度の目標	<p>①不足している物 ・ホワイトボード・入浴剤(各階で用意)・手袋(かきむしり防止) ②特浴4人体制を13:30～始める事を検討 ・入浴専門のパートが3名入る ・特浴室、各階の個浴室に入浴についての用紙がはってあるので各自目を通しておいて下さい ③手袋を網にしっかりいれる ・鼠頸部、わきの下をしっかりと洗う ・2Fの利用者様は車椅子にオムツの当て方カードを掛けてあるので見てしっかりとやって下さい。 ・特浴で1人で移乗介助行うのはやめて下さい ・本人持ちのタオルがある時はリスタオルを使用しない ・4人体制でも焦らず安全に行ってください ④来年度の目標は「安心して安全に入浴する」</p>
H26.3.3	①今後の特浴体制 ②決定事項 ③その他	<p>①現在、火、金、水、土に特浴を行っているが終了時間まで終わらずオーバーになる事が多い為入浴者9名を2人ずつ減らし、月、木PMに計4名を移動できるか？ 《意見》 ・3Fは人手が不足しているため難しい ・入浴パートが各階の個浴に入ってもらいフルタイム者が特浴に入る事で対応 ・シフト等の関係もあるので、次回リーダー会議にて検討してもらい決定次第早ければ来月のシフトから開始。 ②特浴室にマグネットを用意したので身体チェック用に使用して下さい。 ③入浴終了したら排泄チェック表も忘れず記入する事</p>

【給食委員会】

日時	議題	会議内容
H25.4.26	5月行事食献立、内容について	<ul style="list-style-type: none"> ①5/3の行事食の決定 ②決定今年度の施設内研修について <ul style="list-style-type: none"> ・トミ(各ユニット)単位での研修 ・姿勢について ③リクエスト献立 <ul style="list-style-type: none"> ・なし ④その他 <ul style="list-style-type: none"> ・献立が重ならないようにしてほしい ・特に意見なし
H25.5.17	6月の行事食献立、内容について	<ul style="list-style-type: none"> ①和献立に決定 ②食中毒について <ul style="list-style-type: none"> ・資料添付 食材、調理、加工において衛生管理が重要である。また、人(職員)が媒介となる」事もある。空気中にも菌がおり職員は手洗いの徹底をし予防に努める。
H25.6.28	7月の行事食献立、内容等	<ul style="list-style-type: none"> ①7/7七夕献立 ②食事形態について <ul style="list-style-type: none"> ☆現在、粥、ミサーの方 ・カレー等の主食の上に具を掛ける献立は形態の統一(安全性から)粥をミサー粥に変え提供しているが食事レベルの継続維持を希望される対象の方に対しては、主食(粥)には具(ミサー)を乗せず別盛りをする。上記希望については介護主任が意見をまとめ食事伝票にて指示をだす。 ③味の安定統一の改善案として <ul style="list-style-type: none"> ・現在の検食を増やし、多職種にわたり評価をしていく。 ・朝×1食 宿直者 ・昼×3食 フォア担当と2食 ・夕×3食 フォア担当と夜勤等但し、3食のうち2食は主菜程度とする。 ④嚥下食について
H25.7.26	8月の行事食献立、内容	<ul style="list-style-type: none"> ①リクエスト献立 <ul style="list-style-type: none"> ・粥対象者は海鮮ちらしミサー対象者はマグロ中落ち暑さでの食事摂取量の維持を目的としたリクエストの多い酢飯とする。 ・ユニット内管理の箸、スプーン在庫確認をし、現在の適切な各ユニットの本管理数統一を再確認。
H25.9.24	各ユニットでの行事	<ul style="list-style-type: none"> ①10月の行事食は決定次第報告 ②研修内容は、日時、内容が決定次第お知らせします。 ③各ユニットで行事を行う時は(例:ホットプレートでホットケーキパーティー)、ユニットと手順、役割を相談しながら準備を進める。行う際、手を洗い消毒するなどの簡単なマニュアルを穴山が作って配布する
H25.10.28	各ユニットでの行事	<ul style="list-style-type: none"> ①11月の行事食は決定次第報告 ②「家庭でできる食中毒予防の6つのポイント」(生活衛生局食品保険課より)を配布します。ので、ユニットで調理をするときの参考にして頂けたらと思います。 ③麺類の時に割り箸、フォークの提供をとの事なので、容易でき次第提供していきます。
H25.11.25	各ユニットでの行事	<ul style="list-style-type: none"> ①12月の行事食は決定次第報告 <ul style="list-style-type: none"> ・クリスマスを感じさせるプリントをお盆に載せる。 ②クリスマス会のケーキは検討中です。内容が決まり次第お知らせします。
H25.12.25	各ユニットでの行事	<ul style="list-style-type: none"> ①行事食について 年越しそば ②配膳の正確さについて <ul style="list-style-type: none"> ・事前に献立を見て、確認をし配膳時に確認。そして配食にもう一度確認する。 ③粥の離水について <ul style="list-style-type: none"> ・時間がたつと粥から水が浮いてきてしまう。唾液によるでんぷん分解もあるが食事のあんかけによる影響もあるので、調理師の方でも検討が必要である。
H26.1.30	行事食について	<ul style="list-style-type: none"> ①行事食について ②H26年度の目標として、話し合いの結果「五感の提供」に決定しました。 ③今現在、りんごの提供の際、形、一口は生 ソフトはコンポートにしています。形、一口の方の中でも、りんごが硬くてかめないという方はコンポートで対応します。
H26.2.22	行事食について	<ul style="list-style-type: none"> ①行事食について ②形とソフトの食事が同じ事があるとの意見から、今まで確かに同じにしていたものもあるので、分けて調理する事とする。 ③2/17に施設内研修で摂食、嚥下についての内容で行った。

【身体拘束委員会】

日時	議題	会議内容
H25.5.17	①身体拘束の現状報告 ②今年目標 ③今後の研修について	①現状では身体拘束者はなし。センサーマット使用者は数人。 今後も身体拘束はできるだけしない方針。 ②「利用者の尊厳を守る介護」 ③今年度も研修は2回行う予定
H25.7.12	①各階の現状報告 ②研修予定 ③外部研修報告	①各階の現状は拘束者「ゼロ」 ②内部研修予定 10月、2月 ③外部研修報告 ・権利について・介護とは・認知の種類 ・拘束をしないための工夫 ・拘束につながる前に問題点の発見、基本ケア ・拘束防止の考え方・工夫・改善・拘束前に工夫する事・尊厳を守る介護とは？

【身体拘束委員会】

日時	議題	会議内容
H25.10.25	①各階の現状報告 ②施設内研修について	①全ての階で身体拘束者は「ゼロ」今後も身体拘束はできるだけ行わない方針 ②施設内研修は11/10 16:00～開催予定 ・内容は「身体拘束の定義」や「身体拘束開始及び解除をする場合の手順」等。
H26.1.13	①各フロアで身体拘束「ゼロ」 ②1回目研修の振り返り ③2回目研修について	①身体拘束ゼロ ②身体拘束とは何か… ・身体拘束の3つの要件・身体拘束の手続き ③2回目研修は1月の終わりごろから2月にかけて行う予定。 ・少テスト等を行い担当者が解説。

【褥瘡委員会】

日時	議題	会議内容
H25.4.5	①委員紹介 ②委員会目標 ③委員会活動方針 ④その他	①新委員紹介・委員会開催日は奇数月の20日。 ②25年度目標 ・「褥瘡ゼロにむけての活動をする」 ③25年度活動方針 ・施設内研修 年2回 1回目リフトウ「排泄介助と褥瘡及びケア」 2回目 各委員会では考えがあれば内容を次回発表し決定する。
H25.5.20	①施設内エアーマット移動の報告 ②H25年度褥瘡委員会 第1回施設内研修の日程 ③新年度において全ご利用者様 マットレス種類・体交クッション使用状況 確認	①移動の報告 ②褥瘡委員会施設内研修6月→9月変更となる。 ③新年度に入り新しく入居された利用者様や利用者様同士の移動により、マットレス種類、 体位交換用クッション使用の有無等を再調査します。
H25.7.20	①施設内研修について ②車椅子、体位交換クッション の使用調査 ③その他	①施設内研修を9/13と9/20に予定している。 内容はリフトウの本社から呼んで20～30分位の内容で行う。 ②車椅子が合っていない人がいるので9/20までに資料に基づき合っていない人を リストアップする。9月の会議で話し合う。 ・今使用している体交クッションをどの利用者様がどの形を使用しているか7月中に増岡に報告。 ③発赤になりそうな要注意の人は必ず体交する。

【褥瘡委員会】

日時	議題	会議内容
H25.9.20	①褥瘡委員の職員 ②全利用者様のクッションの使用状況の再調査 ③褥瘡ができにくくするには？ ④年明けに褥瘡の研修予定	①職員紹介 ②全利用者様のクッションの使用状況の再調査を来週委員長に渡す。 ③車椅子のフィッティングポイントを調査する。(リクライニング含む)
H25.11.30	施設内研修を行うにあたって	・座位の保持の為の車椅子の座り方(フィッティングポイント)の理解を深める。 ・研修は計3回 ・褥瘡になる要因を学ぶ

【事故防止対策委員会】

日時	議題	会議内容
H25.6.26	①転倒、転落事故について ②服薬介助について ③ひやり、はっについて ④その他	①職員の不注意、見守り不足での転倒、転落事故が未だに多くある。 ・職員同士で声を掛け合い、見守りを徹底していく ・利用者様を優先する。 ②飲ませ忘れや床に薬が落ちていたなどの報告あり、又服薬手順通りに服薬介助が行えていない。 ・委員会のメンバーから各階にもう一度マニュアル通りの服薬介助を行うよう呼びかけ注意をしていく。 ③現在各階にひやり、はっノートを置き、ノートに記入しているが今後事故報告書と同じように用紙に書き主任、フロアリーダーへ提出する。各階へ回覧する。 ・各階のひやりはっを知る、把握する。 ・応援で知らないユニットへ入っても何に注意すべきかわかる為
H25.9.27	①2Fの事故について ②ひやりはっについて ③服薬事故について ④施設内研修について	①事故原因がはっきりと判らなかつたため対策会議を開いた。 ・職員の不注意で起きた事故であり、職員一人一人が注意力を持って介護しなければ今回は2Fで連続したが他のフロアでも起こりうる。 ・介護士としてのフロ意識を持って介護していくよう、主任、委員会で声かけをしていく。 ②ひやりはっの形式が変わって2ヶ月経つが不都合な事はないか？ ・形式が変わった事に対して重く感じる。今までのノートみたいに書きやすい方が良かったのでは ・ひやりはっとは事故の手前で発見して対策を考えその対策を活かすことで事故をなくすものである。 ひやりはっの意味なぜ形式が変わったのかをもう一度委員会から全職員に伝えていく。 また、ひやりはっの形式はこのままで報告書の内容に関しては近日中に検討していく。 ③服薬事故について ・服薬事故が現在月に一度のペースで起きている。 ・1F～3F全体で服薬手順通りに出来ていない為事故が起きている。 なぜ手順通りに行えないのか？ ・忙しく食事が届く前に服薬をすませたい為一人で行ってしまう。 ・最初は手順通りに行うが事故が起きず慣れてくると一人で行ってしまう。 ・服薬手順を最初から最後までできれば事故は起きないはず。 もう一度委員会から朝の申し送り時に全職員に伝わるまで服薬手順を守り服薬介助をするよう声かけする。 ④施設内研修について ・第1回目の施設内研修の担当者を佐藤、瀬戸口で行う ・11月中に行えるよう進めていく。

【防火管理委員会】

日時	議題	会議内容
	防災訓練	・防災訓練のスケジュールの決定、通知等
	防火管理	・日々の点検チェック等

【リーダー会議】

日時	議題	会議内容
毎月7日		施設長、事務長、相談員、CM、介護主任、看護主任、フロアリーダー、ユニットリーダー、管理栄養士が主に参加。その時の議題について話し合う。

【ユニット・フロア会議】

日時	議題	会議内容
随時	①事故対策 ②問題点解決 ③その他	・各フロアで毎月1回程度行う。 ・事故等の対策についてはその都度行う。

事故報告													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1丁目	2	1	3	0	1	0	0	2	2	3	2	1	17
2丁目	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	3
3丁目	1	1	1	2	0	2	4	3	2	1	1	2	20
5丁目	1	0	1	1	0	0	1	1	0	1	0	0	6
6丁目	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
7丁目	1	1	1	1	0	1	0	0	0	1	0	0	6
8丁目	0	1	1	0	1	1	1	1	0	1	0	1	8
	5	4	8	5	2	4	6	7	4	8	3	5	61

※ 主な事故内容

服薬に関する事故 16件 ・ 転倒事故 21件 ・ 転落事故 9件（報告数には、骨折を伴う事故4件を含む）

苦情等			
内	容		件数
職	員	の	対
應			3
入	所	申	込
			1
			4

外出・外泊													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外出	9	14	17	14	18	13	15	10	15	11	5	8	149
外泊	0	0	2	0	0	3	2	1	1	1	0	0	10
	9	14	19	14	18	16	17	11	16	12	5	8	159

面会													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
面会	203	219	210	186	180	203	192	201	198	204	152	154	2302

入院・入退所													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所	2	0	1	0	0	2	1	1	0	1	0	0	8
退所	1	1	0	3	0	0	0	0	1	0	0	1	7
入院	2	2	3	0	0	1	0	0	1	2	3	1	15
	5	3	4	3	0	3	1	1	2	3	3	2	30

H25年度行事一覧

	行事名	内容・目的
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・お花見 ・食レク 	<ul style="list-style-type: none"> ・外出し気分転換を図る。季節を感じて頂く。 ・パウンドケーキにご本人がお好みでホイップ・チョコ・ヨーグルト・練乳等をかけ召し上がって頂く。
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・鯉のぼり ・買物 	<ul style="list-style-type: none"> ・季節の雰囲気味わってもらい、気分転換を図る。 ・生活に必要な物を買いに行く。外出で気分転換を図る。
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・あじさい見学 	<ul style="list-style-type: none"> ・季節の花を見て頂き楽しんでもらう。
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・納涼祭 	<ul style="list-style-type: none"> ・いつもと違う食事を提供。 ・家族と共に楽しんでもらう。
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・食レク ・買物 ・野球観戦 	<ul style="list-style-type: none"> ・猛暑の中で冷たいデザートを食べて頭がキーンと感じた思い出のある行事 ・のりのつくだ煮など生活用品を購入する。気分転換を図る。 ・外出の機会を通し、利用者の気分転換を図る。
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・敬老会 	<ul style="list-style-type: none"> ・敬老の日を祝い行事食を楽しんでもらう。 ・催し物を楽しんでもらう。
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・里芋掘り会 ・秋の運動会 ・昼食会 ・さつま芋掘り ・コスモス見学 	<ul style="list-style-type: none"> ・秋ならではの収穫行事を行い季節を感じてもらおう。 ・体を動かして運動会の雰囲気を楽しんで頂き、スタッフとの絆を深める(コミュニケーションをとる) ・一般家庭でやる様な事で、利用者様一人一人食べたい物を出前注文し家庭的なコミュニケーションの場を作る。 ・芋を掘ったり、秋の収穫を楽しんでもらう。 ・季節の花をご覧頂き季節を味わって頂く。
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・菊花展見学 	<ul style="list-style-type: none"> ・季節感をあじわい、菊の満開に咲いているのを見て秋を実感する。
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・クリスマス会 ・オカリナ演奏 ・食レク ・餅つき 	<ul style="list-style-type: none"> ・季節を味わって頂く。 ・演奏会を通して楽しい時間を過ごしていただくと共に童謡等親しみのある曲から昔の事を思い出懐かしんで頂く。 ・おやつ作りを楽しんで頂き、職員・ご利用者様同士コミュニケーションを深めて頂く。 ・季節感を味い他入居者様職員の交流を深める。
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・新年会 	<ul style="list-style-type: none"> ・唄を通じて他の入居者様、職員とコミュニケーションをとり楽しんで頂く。
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・節分 ・カラオケ大会 	<ul style="list-style-type: none"> ・古くからの行事「節分」に合わせて昔なつかしの味を楽しんで頂く(駄菓子)(甘酒等) ・利用者様が良く知っているナツメロ等を唄って頂き他の皆様と一緒に聴いたり唄ったり楽しんでもらう。
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・ひな祭り ・公園散策 ・買物 	<ul style="list-style-type: none"> ・季節の行事、春のひな祭り会を楽しむ。 ・梅や桃の花を眺め香を楽しみ春の訪れを感じて頂く。 ・外気に触れ気分転換をして頂く。

※御入居者様毎の誕生日会を計画。

※ほぼ毎月エレクトーン演奏会

※ボランティアさんによる演芸、演奏等。

施設外研修

研修先	研修内容	参加人数
(株)リヴドゥコーポレーション	明日から活かせる介護技術	2
介護労働安定センター	介護職の接遇マナー	2
千葉市老人福祉施設協議会	認知症の基本理解ケアのあり方	2
千葉市社会福祉協議会	介護動作における身体の使い方	1
千葉県社会福祉協議会	転倒・転落予防セミナー	1
千葉県社会福祉協議会	認知症の方への排泄ケア研修	1
千葉県高齢者福祉施設協会	身体拘束廃止研修(専門)	1
千葉県社会福祉協議会	援助職のきほんの「き」	2
千葉市社会福祉協議会	福祉施設職員研修Ⅰ(技術編)	1
千葉市社会福祉協議会	介護技術向上研修(基本)	1
千葉市社会福祉協議会	福祉施設職員研修Ⅱ(技術編)	1
千葉市	認知症実践者研修	2
千葉県社会福祉協議会	新任職員コミュニケーションスキルアップ	2
千葉県社会福祉協議会	災害対策研修	1
千葉市老人福祉施設協議会	実務者研修	3
千葉市高齢施設課	感染症予防講習会	1
千葉市社会福祉協議会	自ら提供サービスを振り返る	2
日本労働安全衛生コンサルタント	腰痛予防対策講習会	1
千葉市	認知症実践者研修	1
千葉市社会福祉協議会	職場で活かせる心理技術	2
千葉市社会福祉協議会	福祉施設監督者研修	1

施設内研修

研修者	研修内容	参加人数
千葉市保健所(外部講師)	食品衛生講習会	25
千葉薬品(外部講師)	熱中症・脱水症状対策	
千葉薬品(外部講師)	お薬の勉強会	
介護労働安定センター(外部講師)	介護の職場で働くということ	20
林看護師(2日間)	高齢者の性	35
カミ商事(外部講師)	オムツの当て方	12
林看護師(2日間)	感染症対策(尿路感染)	20
褥瘡委員会	車椅子のフィッティングについて	
給食委員会	摂食・嚥下について	18
身体拘束委員会(2回)	身体拘束はなぜ問題なのか	
林看護師	ノロウイルス	
排泄委員会	オムツの当て方	8
明治(2回)(外部講師)	トロミの付け方	30
入浴委員会	リフト浴の使い方	
排泄委員会	陰部洗浄のやり方	

※各委員会で年間予定を立て施設内研修をおこなった。

※取引業者に依頼し、専門的な施設内研修を行う事ができた。

H25年度ボランティア

	時間	内容	回数
4月	13:00～15:30	清掃・傾聴	3回
	13:30～15:30	傾聴	1回
	13:00～15:00	シーツ交換	1回
5月	13:00～15:30	清掃・傾聴	3回
	13:30～15:30	傾聴	1回
	13:00～15:00	清掃	2回
	13:00～15:00	傾聴・散歩	2回
6月	13:00～15:30	傾聴・清掃	2回
	13:30～15:30	傾聴	1回
	13:00～16:00	シーツ交換・散歩	2回
	13:00～15:00	傾聴・水やり	1回
7月	13:00～15:30	傾聴・清掃	3回
	13:30～15:30	傾聴	1回
8月	13:30～16:00	傾聴	1回
9月	13:00～15:30	傾聴・清掃	2回
	13:30～15:30	傾聴	1回
10月	13:30～15:30	傾聴・清掃	2回
	13:30～15:30	傾聴	1回
11月	13:30～15:30	傾聴	1回
12月	13:00～15:00	オカリナ演奏	1回
	13:30～15:30	傾聴	1回
1月	13:30～15:30	傾聴	1回
2月	13:30～15:30	傾聴	1回
3月	13:30～15:30	傾聴	1回
定期	14:30～15:30	演奏会	月1回
定期		生け花	月数回

平成25年度各部門反省点

☆介護部☆

- ・施設内研修において、出席人数がなかなか集まらず今後はその為の日程、シフト調整、職員の声かけ等をもう一度考え直していく。
- ・新人に対し白山荘統一のプログラム通りマンツーマンで取り組んできたが職員と新人とのコミュニケーションが、うまくいかないケースがあった為、今後指導に当たる職員をしっかりと選考していく。また、新人に対してオリエンテーション・基本は引き続き、しっかり伝えて行きたい。
- ・コスト削減については、全体に周知徹底がだいぶ出来てきたと思うが増税に伴い引続き全体でコスト削減に力を入れて行きたいと思う。
- ・ボランティアの受入が少なかったように思う。広く声をかけ来て頂くよう考えて行きたい。
- ・職員間でのコミュニケーションがあまりうまく行ってないように思った。そのため、職員間で連携が取れていなかった。

☆看護部☆

- ・ノロウィルスやインフルエンザの感染者も出る事がなく、また風邪等の感染の拡大がないよう早期の対応に努める事が出来た。
- ・施設外の医療機関に急遽受診する場合の対応も、他部門の手助けもうけながら最大限迅速に出来たと思う。
- ・入所者の全体像もとらえられるようになり、他部門の職員との連携もスムーズにとれるのになったので今後もより迅速に何事も出来る様にしていきたい。

☆栄養部門☆

- ・利用者様へより良い食事を提供するため、給食会議を開き意見をもらい日々の食事に反映できるよう努めた。行事食等もメニューがなるべくかぶらない様にアンケートを取るなど努力した。
- ・納涼祭では毎年、食事メニューが偏っているので、次は創意工夫してみたいと思う。
- ・ソフト食の改善に力を入れる。

☆庶務部門☆

- ・今年は、新卒の教育に努め1年間でかなり成長してくれたと思う。
- ・職員とコミュニケーションを取りながら、感染症予防のため施設内の衛生管理に努めた。
- ・監査時は「とてもきてい」だとお褒めの言葉もいただき、より一層業務遂行していきたいと思う。

平成25年度各部門反省点

☆生活相談員☆

1 入退所相談

円滑な入所に結び付かない事が生じてしまいましたが、千葉市外の地域包括支援センターへ情報提供を行うことで、実際に入所に結び付く情報(相談)を得ることができました。来年度以降も情報交換を行えるようにして行きたいと思います。

2 相談活動

介護保険や施設の利用に関する事だけでなく、その他の制度や手続きに関する相談も多くあり、関係機関へも確認を取りながら情報提供を行う事ができました。

また、ご利用者様や御家族様よりの苦情や要望等の解決においては各職員への周知徹底が難しく、迅速な解決に結び付ける事ができなかつたように思います。

3 家族交流・情報提供

施設広報紙をご覧になった御家族様より「なかなか面会に行けないが、元気に過ごしている様子が伝わってきた」「本人は分からないかもしれないが、行事にも参加させてもらいたい」等の意見を頂く事ができました。

また、年度後半よりホームページの更新が滞ってしまう事があったので、施設内行事やイベントがあった際には随時ホームページにアップできるようにして行きたいと思います。

☆介護支援専門員☆

・入院等の空きが出た時のショートを使用してもらう為の連携があまりとれず、空きのままとなる事が多かった。日頃から、居宅や他ケアマネージャーさん達と情報交換が出来るよう心掛けたいと思います。

・ケアプラン作成等、情報を収集するために現場の職員やご利用者様と接する機会をもっと作りご利用者様本位のケアプラン作成が出来るよう心掛けたいです。

・ボランティアの担当もしておりますが、行事直前の依頼になってしまい円滑に行う事ができませんでした。普段から協力を呼びかけ、ボランティア団体等に情報をもらえるように動いて行きたいと思います。

☆事務部門☆

・職員同士のコミュニケーションに偏りがあつたと思います。どの場面でも声かけをしていき、積極的にコミュニケーションを取り意見を吸い上げていきたいと思ひました。

・採用に関して、計画通りには行かなかつたと思う。合同面接会等に参加し、意欲的には取り組んできたが、結果良い採用ができていないと思う。色々なツールを用意し、次年度も面接会等に参加していきたい。日頃から知り合い等に声を掛け採用の発信をしていきたいです。

・コスト削減に関しては、委員会等と通じて比較的協力してくれ、うまく行つたと思う。

・外部研修に行つた職員から内部研修へと結びつかずに昨年同様課題が残つたと思う。どうして研修に行つたのか再確認をして頂き、施設がより良くなるためお互い努力をしていきたいと思ひます。

平成25年度各部門反省点

☆1丁目☆

- ・職員のコミュニケーション(報告、連絡、相談)がなっていなかった為に業務に影響があった。
- ・職員一人一人の責任感がなかった。

☆2丁目☆

- ・事故が起こらないように必要以上に介助をしてしまった。
- ・ご利用者様と粘り強く接し、コミュニケーションが改善した。

☆3丁目☆

- ・骨折事故2件もあり、ヒヤリも含めて見守り強化。
- ・レク行事等職員一人一人が行事計画を行い、実施出来た事。
- ・利用者様の娯楽時間を作れるよう努力した事。(DVD鑑賞等)

☆5丁目☆

- ・骨折事故があったがすぐに事故対策会議等開き、原因究明したがはっきりとした原因が無く日々の介助方法に問題がある可能性が高い。職員で検討しながら業務を進めた。
- ・他の利用者様に対しても介助方法やクッションの置き方等を考え傷、皮下出血の防止に努めた。
- ・曜日を決めレクリエーションを継続的に行う事が出来た。

☆6丁目☆

- ・人手不足で色んな方が入職されてはすぐに辞めてしまい落ち着かない1年でした。
教えることの難しさ(当たり前)に出来る人材の貧しさ人を育てるとい難しさを本当に実感した。
- ・皮下出血等の減少のためクッション等の検討をして手作りした物を使用して頂いた。

☆7丁目☆

- ・離荘事故が発生し、改めて事故が起きた時の手順や指示等再確認の必要さを感じた。
- ・毎年恒例の納涼祭では前年度より円滑に行えたと思う。

☆8丁目☆

- ・一年を振り返って色々ありましたが、離荘事故が深く心にあります。職員同士声を掛け合い不注意からの事故をなくしていきたい。
- ・クリスマス回や新年会など企画させて頂き利用者様に喜んでくださったこと。

職 員 配 置

	施 設 長	事 務 職 員	ケ ア マ ネ	生 活 相 談 員	介 護 職 員	庶 務	看 護 職 員	管 理 栄 養 士	調 理 師	調 理 補 助 員	医 師	合 計
常 勤	1	1	1	1	25		1	1	3			34
非 常 勤					11	2	1			1	1	16
合 計	1	1	1	1	36	2	2	1	3	1	1	50

平成26年3月31日現在

H25年度・行事食

4月	俵むすび寿司・茶碗蒸し・春野菜の天婦羅 (抹茶塩)・うずら豆・清まし汁(麩・紅白もち)
5月	バターライス・ミートローフ・カルボナーラ フレンチポテト・プリン
6月	茶そば・卵焼き・おにぎり・八幡巻き・ オレンジゼリー・フルーツ
7月	七夕そうめん・鮭押し寿司・和えもの デザート(鮮やかゼリー)
8月	にぎり寿司・野菜天婦羅・茶碗蒸し すまし汁・フルーツ
9月	にぎり寿司・茶碗蒸し・和えもの・すまし汁
10月	炊き込みご飯・天婦羅・ほうれん草胡麻和え すまし汁・フルーツ
11月	五目寿司・松笠焼き・茶碗蒸し・清まし汁 フルーツ
12月	ロールパン・チキンソテー・ロールキャベツ サラダ・パンプキンスープ・ババロア
1月	1日朝 ゆかりご飯・雑煮風椀・伊達巻 紅白なます・お煮しめ 1日昼 赤飯・鱈の西京焼き・きんとん・煮豆 筑前煮・清まし汁 2日昼 炊き込みご飯・八幡巻き・卵焼き 胡麻和え・すまし汁・みかん缶ゼリー寄せ 3日昼 ご飯・天婦羅・茶碗蒸し・清まし汁・漬物
2月	巻き寿司・茶碗蒸し・白和え・清まし汁 ババロア・甘納豆
3月	ちらし寿司・茶碗蒸し・和えもの・清まし汁 フルーツ盛り合わせ

☆季節を感じて頂けるようメニューを考え提供しました。

